



皆さんこんにちは！
 地域おこし協力隊の池田です。
 今月の集落支援だよりでは、西会津かるた
 アプリ版の試作、屋敷地区でのパソコン・
 スマートフォン講習会について紹介します。



地域おこし協力隊 集落支援担当
 池田 潤 隊員

西会津かるたアプリ版の試作

皆さんは、「西会津かるた」を知っていますか？

町では、町内に住む子どもたちの郷土愛を育むため、群馬県の「上毛かるた」を参考に、「西会津かるた」を5年ほど前に制作しました。このかるたでは、「あいばんしよ 阿賀川流れる 西会津」、「なじよな願ひ 大山様は聞きなざる」などの札があり、子どもたちが町のさまざまな事物に、楽しみながら親しめるものとなっています。

現在、江添教育長の発案

で、この「西会津かるた」を

西会津小・中学校に配布されているタブレット端末で遊べるように、アプリ版の試作開

発を、ICT教育支援担当地域おこし協力隊の長谷川隊員とともに進めています。私もプログラマーだった経験を生か

し、集落支援業務と並行してプログラミング部分の開発に携わっています。

このアプリを通して、子どもたちの郷土愛を育むだけでなく、将来的には町の関係人口の増加にもつながることを期待して、制作に取り組んでいます。

3月末時点では、まだ試作

中

です。



タブレット端末上での「西会津かるたアプリ版」試作の画面。読み札は自動音声で読み上げられる

初版が完成したばかりで、実際にアプリで遊んでもらえるまでは開発が進んでいません。早く小・中学生や町民の皆さんにこのアプリで「西会津かるた」を楽しんでもらえるよう、引き続き開発を進めていきます。

屋敷地区でパソコン・スマホ講習会

屋敷地区では、地域の皆さんによるパソコン・スマートフォン講習会が開かれています。これは、「持っているけれど使い方がよく分からない」との皆さんのからの声をきっかけに始まったもので、普通の講習会とは異なった「雑談的な雰囲気の中で、急ぎ過ぎずゆっくりと進めていきたい」という考えの下で進められています。

また、パソコンやスマホなどの機器を使うことが体や脳への刺激になり、いつまでも元気な心と体を維持しつつ、テレビ電話機能などを使うことで遠方の家族との会話や高



パソコン講習会の様子